

要約 京都の経営経済動向調査結果 (2010. 7. 6)

- 2010年4～6月期実績と2010年7～9月期及び10～12月期予想 -

京 都 商 工 会 議 所

担当：中小企業経営相談センター

電話 (075) 212-6467

業況は着実に持ち直しが続く
～国内景気は3年ぶりにプラス～

概 要

今期、自社業況は▲1.9とマイナス幅をさらに狭め、一段と持ち直しを強めている。引き続きハイテク関連など大企業中心に生産・売上など各指標の改善が進んでおり、中小企業では受注・売上や資金繰りなど改善のテンポに遅れが見られるものの、ともに今年秋以降の回復局面へ向けた期待を強めている。また、国内景気動向は、今期3.5と2007年4～6月期以来3年ぶりにプラスに転じるなど幅広い業種で上昇し、今後も着実に上昇軌道を辿るなど回復局面を固める見通しとなっている。

(注) 5月下旬から6月上旬にかけて同調査を実施し、612社中511社から回答を得た(対象は、京都府内に本社、本店を持つ企業)。また4～6月期のBSI値は、2010年1～3月期の景況感を基準に強気なら「プラス」、弱気なら「マイナス(▲)」で表している。算出方法は、上昇回答から下降回答を差し引き、2分の1を乗算。

I 国内景気動向

4～6月期のBSI値は、3.5(前期実績▲8.7)と2007年4～6月期(6.8)以来、3年振りにプラスとなり、上昇局面へと転じた。今後の7～9月期は2.2、続く10～12月期は8.3と上昇を続け、景気は緩やかに回復へと向かう見通しとなっている。

II 企業経営動向

自社業況(総合判断) 4～6月期のBSI値は、▲1.9(前期実績▲9.2)とマイナス幅をさらに狭め、持ち直しを強めた。今後の7～9月期は季節的要因もあってやや減速するものの、10～12月期にかけて8.3とプラスを予想し、業況は回復局面を睨んで、底堅く推移する見通しとなっている。

※自社業況(総合判断)は、以下に続く「生産・売上高、工事施工高」から「資金繰り」までの6項目を総合的に判断したもの。

1. 生産・売上高、工事施工高 4～6月期のBSI値は、▲1.6と着実にマイナス幅を縮小した。今後の見通しについて業種別に見ると、7～9月期は季節的要因もあって旅館・ホテルといったサービス業や運輸・倉庫業、製造業の繊維製品、染色、繊維、窯業・土石、鉄鋼といった業種で減少する一方、続く10～12月期は年末需要を背景に、卸売業の食料品卸やサービス業の旅館・ホテル、製造業の食料品、出版・印刷、化学・ゴムなど幅広い業種で増加する見通しとなっている。
2. 製・商品・サービス・請負価格 4～6月期のBSI値は、▲6.0と下降を続けた。今後の見通しについて業種別に見ると、7～9月期は建設業や小売業、運輸・倉庫業、サービス業をはじめ、製造業の繊維製品、繊維、鉄鋼など幅広い業種で下降を予想し、10～12月期は下降傾向で推移するものの、サービス業の旅館・ホテルや、その他サービス業、料理・飲食や小売業、製造業の染色、非鉄、卸売業の繊維卸、機械金属卸などの業種で上昇することもあって下降幅は狭まる見通しとなっている。
3. 経常利益 4～6月期のBSI値は、▲5.1と、減益基調で推移した。今後の見通しについて規模別に見ると、7～9月期は大企業ではほぼ横ばいの予想に対して、中小企業はさらに下降を予想しており、続く10～12月期には、大企業・中小企業とも増益を見通すものの、中小企業では改善の足取りが重く、規模間で差が見られる。
4. 所定外労働時間 4～6月期のBSI値は、▲2.6と減少傾向で推移した。今後の見通しについて業種別に見ると、7～9月期は、季節的要因もあって、サービス業の旅館・ホテルをはじめ、運輸・倉庫業、建設業、不動産業、卸売業の食料品卸や製造業の鉄鋼、木材・木製品、繊維製品な

ど幅広い業種で減少を予想し、続く10～12月期は、年末需要を背景に、卸売業や出版・印刷、食料品、染色、繊維などの製造業をはじめ、建設業やサービス業の旅館・ホテルなど多くの業種で増加する見通しとなっている。

5. 製・商品在庫 4～6月期の製・商品在庫は、「適正」とする企業が79.1%と概ね適正水準で推移したものの、一部に過剰感が見られた。業種別に見ると、繊維製品製造、繊維製造、繊維卸など繊維関係業種を中心に過剰感が見られた。今後は、繊維関係ではやや過剰感が残るものの、全体としてやわらぎ、概ね適正水準で推移する見通しとなっている。
6. 資金繰り 4～6月期のBSI値は、▲0.5とほぼ横ばいで推移した。今後の見通しについて規模別に見ると、大企業では10～12月にかけて改善を予想する一方、中小企業では悪化傾向が続くと予想しており、規模間で差が見られる。

III 当面の経営上の問題点

「受注・売上げ不振」(66.7%)が前回に続き第1位になった。第2位は「過当競争」(31.7%)、第3位に「製・商品(請負)価格安」(29.5%)、第4位に「原材(燃)料高」(18.8%)、第5位に「人件費負担増大」(16.0%)が続いた。第3位の「製・商品(請負)価格安」は前回2位から順位を下げ、第4位の「原材(燃)料高」は前回6位から順位を上げた。

IV 雇用人員と設備投資計画(年1回6月時点調査で実施)

■雇用人員

2010年4～6月期の雇用人員は、「増加」15.9%、「減少」23.2%、BSI値▲3.7(前年同期▲7.6)と減少傾向で推移した。

業種別 繊維卸(BSI値▲21.5)、窯業・土石(▲16.7)、繊維製造(▲15.8)、建設業(▲14.7)、食料品卸(▲12.5)など多くの業種で減少した。一方、料理・飲食(17.9)、精密機械(16.7)、化学・ゴム(8.4)、非鉄(6.9)など一部の業種では増加した。

規模別 大企業(BSI値▲1.4)、中小企業(▲4.7)とも減少傾向で推移した。

■設備投資計画

2010年度の設備投資計画は「増額」とする企業13.8%、「減額」とする企業20.6%でBSI値は▲3.4(前年度▲13.9)となり、前年度の記録的な落ち込みと比べマイナス幅を狭めたものの、減額傾向で推移した。

業種別 繊維製造(▲19.5)、その他製造業(▲16.7)、機械金属卸(▲11.9)、食料品製造(▲10.0)、旅館・ホテル(▲10.0)などの業種で減額が続く一方、非鉄(13.7)、窯業・土石(12.5)、電気機械(4.5)、化学・ゴム(4.2)、精密機械(3.6)などの業種では増額となっている。

規模別 大企業はBSI値2.1(前年度▲15.1)と、一転して幾分増額となったものの、中小企業は▲5.8(前年度▲13.5)と減額となり、規模間で差が見られる。

国内景気	実績			予想					
	2010年4～6月期			2010年7～9月期			2010年10～12月期		
	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降
総計	3.5	26.3	19.3	2.2	20.2	15.9	8.3	28.5	12.0
規模別									
大企業	9.2	29.1	10.8	5.1	18.2	8.1	12.7	30.7	5.4
中小企業	1.3	25.1	22.6	0.9	21.0	19.1	6.5	27.6	14.7
業種別									
製造業	5.2	28.9	18.5	4.5	22.3	13.4	10.2	30.0	9.6
卸売業	2.4	21.9	17.2	4.7	23.4	14.1	4.7	21.9	12.5
小売業	0.0	16.0	16.0	0.0	12.0	12.0	2.0	28.0	24.0
建設業	▲4.4	11.8	20.5	1.5	20.6	17.6	0.0	11.8	11.8
不動産業	▲2.6	21.1	26.3	▲2.7	15.8	21.1	5.3	26.3	15.8
運輸・倉庫業	2.0	24.0	20.0	2.0	20.0	16.0	6.0	24.0	12.0
サービス業	5.4	32.5	21.7	▲4.8	14.5	24.1	11.6	37.8	14.6

自社業況 (総合判断)	実績			予想					
	2010年4～6月期			2010年7～9月期			2010年10～12月期		
	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降
総計	▲1.9	28.2	32.0	▲6.1	17.2	29.4	8.3	33.6	17.1
規模別									
大企業	3.7	32.6	25.2	2.1	21.8	17.7	12.8	36.6	11.0
中小企業	▲4.3	26.3	34.8	▲9.5	15.3	34.2	6.4	32.3	19.6
業種別									
製造業	▲3.7	26.5	33.8	▲5.8	18.3	29.9	8.2	32.4	16.0
卸売業	▲0.1	31.7	31.8	▲6.4	9.5	22.2	8.7	34.9	17.5
小売業	4.0	28.0	20.0	▲4.0	16.0	24.0	10.4	33.3	12.5
建設業	▲19.7	12.1	51.5	▲6.1	15.2	27.3	3.0	24.2	18.2
不動産業	▲2.8	22.2	27.8	▲5.6	11.1	22.2	2.8	22.2	16.7
運輸・倉庫業	2.2	26.1	21.7	▲8.7	17.4	34.8	4.4	34.7	26.0
サービス業	6.8	39.5	26.0	▲6.8	22.3	35.8	11.9	42.6	18.8

雇用人員	B.S.I.値	増加	減少	設備投資計画	B.S.I.値	増額	減額
総計	▲3.7	15.9	23.2	総計	▲3.4	13.8	20.6

※ B.S.I.値 = (上昇[増加、他] - 下降[減少、他]) × $\frac{1}{2}$